



「トルコギキョウ」冬春期無加温栽培 における適品種の選定・普及による 産地育成

手引き

鹿児島県

目 次

I 新品種・新技術の概要

- 1 新品種・新技術の特性等
- 2 取り組む理由（産地の現状）
- 3 導入することで見込まれる成果

II 実施体制について

- 1 関係機関等の役割
- 2 体制フロー図

III 導入までの流れ

- 1 1年目の取組
- 2 2年目の取組

IV 導入に向けた取組内容

- 1 実証試験について
 - (1) 地域の品種の実態把握
 - (2) 新品種適応性の実証
 - (3) 品種比較実証（R1，R2）
 - (4) 2度切り栽培適応性の実証及び経営検討
 - (5) 農家へ情報共有（研修会及び現地検討会）
- 2 先進地調査について
 - (1) 栽培技術・品種等の情報収集（長野）
 - (2) 栽培技術・品種等の産地事例調査（福岡）
- 3 実需者ニーズ調査及び市場調査について
 - (1) 実需者のニーズ調査（関東）
 - (2) 品種選定検討会

V 新品種・新技術の導入状況

VI その他留意事項

I 新品種・新技術の概要

1 新品種・新技術の特性等

品目名：トルコギキョウ

（技術名：適品種の選定・普及）

沖永良部地域における冬春期無加温栽培で安定出荷が可能な複数品種を栽培し、当地域での適応性を確認し、適品種の選定・普及に取り組む。

実需者評価を行い、市場性を加味した適品種を選定を行う。

また、2度切り栽培（1～2月出し＋4～5月出し）に適した品種の選定、定植時期の検討にも取り組む。



2度切り栽培に適する品種
渚B

2 取り組む理由（産地の現状）

○適品種の選定・普及

温暖な気候の沖永良部地域では、1～5月にかけて無加温栽培によるトルコギキョウの冬春期出荷が行われている。毎年、民間の種苗会社から多くの新品種が育成・販売されており、当地域でも多品種が栽培されているが、特性が不明な品種が多い。また、冬期は曇天が多いため、生育不良（プラスチック、開花遅延等）が発生するなど生産が不安定であり、適品種の絞り込みや導入が遅れている。

そこで、生産性や品質、実需者の評価等を加味した適品種の選定を行う。

また、当地域では冬に収穫したトルコギキョウの切り下株による2度切り栽培が行われており、省力かつ低コストで生産できるが、2度切り栽培が可能な品種の把握・選定は十分に進んでいないため、品種の検討・選定を行う必要がある。

3 導入することで見込まれる成果

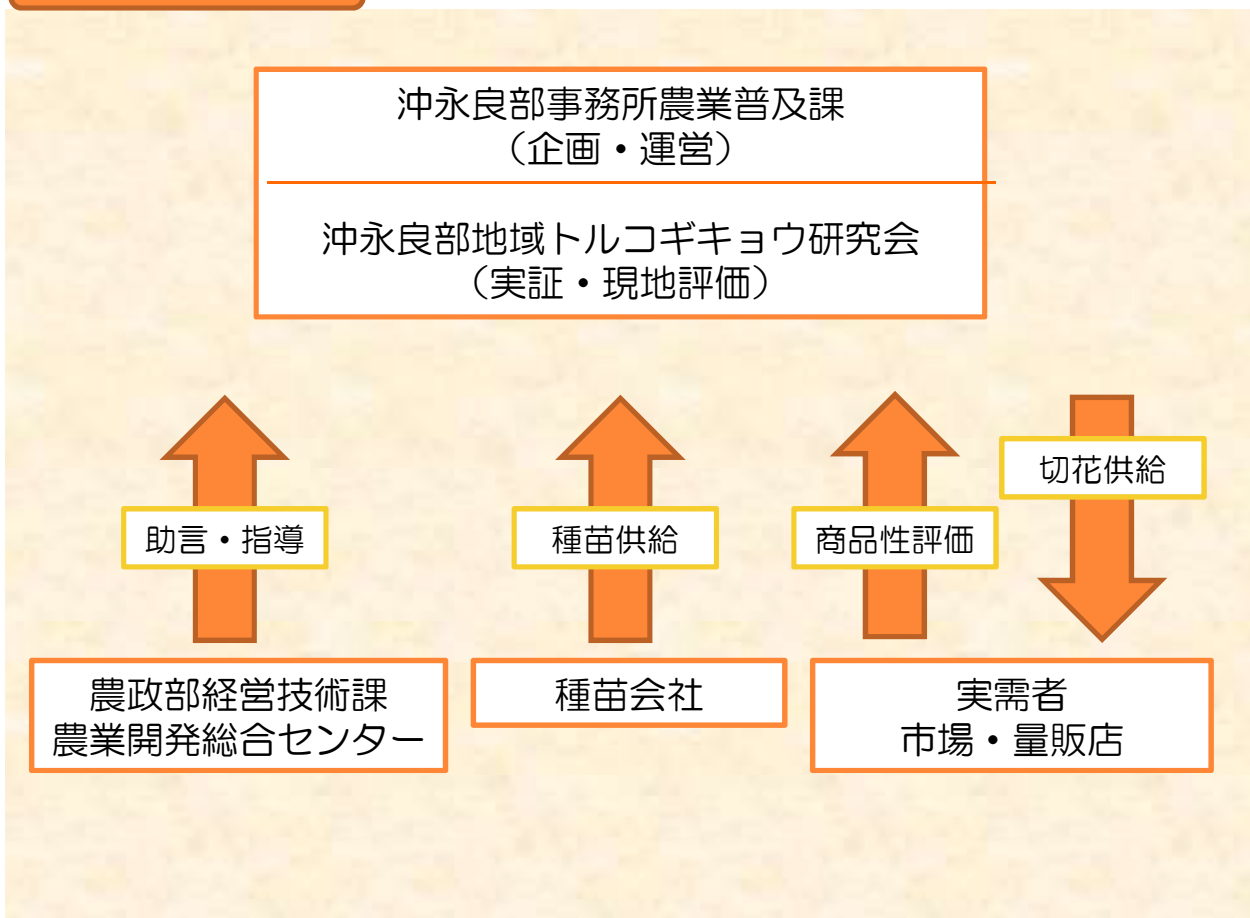
当地域に適した品種の選定により、国内生産の少ない冬春期に高品質なトルコギキョウの安定生産が行えるようになる。また、2度切り栽培も組み合わせることで10アール当たりの出荷本数が増加し、生産農家の所得向上・経営安定、産地育成が図られる。

Ⅱ 実施体制について

1 関係機関等の役割

- 沖永良部地域トルコギキョウ研究会
(生産者, 和泊町, 知名町, 与論町, 沖永良部花き専門農協, JAあまみ)
: 実証ほの管理運営, 品種特性を整理し情報を共有
- 沖永良部事務所農業普及課
: 取りまとめ機関。関係機関と連携, 技術指導等の実施
- 農業開発総合センター : 生産技術に関する助言・指導
- 県農政部経営技術課 : 事業実施, 技術確立に関する助言

2 体制フロー図



Ⅲ 導入までの流れ

1 1年目の取組

【品種・技術の特性把握】

- ・地域の品種の実態把握
- ・新品種適応性の実証
- ・品種比較実証
- ・2度切り栽培適応性の実証及び経営検討
- ・栽培技術・品種等の情報収集（長野）

【実需者のニーズ調査，産地・実需者とのマッチング活動】

- ・実需者のニーズ調査（関東）
- ・品種選定検討会

【品種・技術の普及活動】

- ・研修会及び現地検討会（4月，7月，9月，11月）

2 2年目の取組

【品種・技術の特性把握】

- ・品種比較実証
- ・栽培技術・品種等の産地事例調査（福岡）

【品種・技術の普及活動】

- ・研修会及び現地検討会（7月，9月，11月，2月）

Ⅳ 導入に向けた取組内容

1 実証試験について

(1) 地域の農家導入品種の実態把握

- 研究会会員に対して、定植時期やかん水方法などの管理状況及び生産した品種毎の草丈、生育不良等の発生割合、2度切り栽培の可否などの品種特性に関する情報を聞き取り、集計したデータを共有した。



品種情報交換



聞き取り用紙

- 過去の栽培結果から、品種特性により安定して生産できなかった品種が排除され、沖永良部地域の冬春期の無加温栽培でも、草丈の伸びが良く、花蕾が安定して生育する適品種が絞り込まれつつある。
- また、適品種と併せて2度切り栽培にも適した品種の選出・検討を行った。

色	品種名	定植日	採心	収穫期 (12月頃)	草丈	収穫予定 (2月頃)	2度切り 可否	特性	特徴
白	H000 白しおしおアサヒ	8/18	青	12/17	80cm	—	少	○	生育が早い
		8/20	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
		8/21	青	12/17	80cm	—	少	○	生育が早い
		8/21	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
		8/24	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
		8/25	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
	H01 白しおしおアサヒ	8/25	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
		8/25	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
		8/25	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
		8/25	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
		8/25	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
		8/25	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
白	H02 白しおしおアサヒ	8/25	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
		8/25	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
		8/25	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
		8/25	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
		8/25	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
		8/25	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
	H03 白しおしおアサヒ	8/25	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
		8/25	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
		8/25	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
		8/25	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
		8/25	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
		8/25	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
白	H04 白しおしおアサヒ	8/25	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
		8/25	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い
		8/25	青	12/17	80cm	8月～9月	少	○	生育が早い

2カ年分の品種別生育状況調査結果

Ⅳ 導入に向けた取組内容

(2) 新品種適応性の実証

内容：高単価が期待できる2～3月出荷に適した品種の選定を目標とした現地適応性の実証。

結果：新品種を含む3品種を実証栽培した結果、3品種とも10月中旬の定植で、3月にL規格（70cm以上、2花2蕾）以上で収穫でき、有望であった。

品種名	収穫期	切花長	切花重	有効側枝数	有効花蕾数	花径	花首長	プラスチック花蕾数	花弁数	総合評価
		cm	g			cm	cm			
ハピネスピンク/ブルーチーク	3/12～30	82.2	133.2	2.6	5.4	9.7	15.6	0	22	○
モアナライトピンク(M19-4)	3/9～18	85.2	160.2	3.6	7.2	9.9	10	0	24	◎
チュールピンク(M19-7)	3/7～18	72.8	105.6	3.0	6.6	9.0	7.3	0	23	○



ハピネスピンク/
ブルーチーク



チュールピンク



モアナライトピンク

(3) 品種比較実証(R1, R2)

内容：L規格（70cm以上、2花2蕾）以上の規格を生産できる適品種の選定のための開花特性調査・比較。

結果：試験した10品種中、4品種が有望であった。

年	品種名	収穫期	切花長	切花重	有効側枝数	有効花蕾数	花径	花弁数	出荷規格割合				総合評価
			cm	g			cm		5輪	4輪	3輪	70cm以上	
R1	ボヤージュみどり	1/28～2/14	71.0	67.8	2.6	5.8	10.3	19.0	90%	10%	0%	16%	○
	ボヤーージュゴールド	1/31～2/25	66.8	60.4	2.0	4.4	10.6	23.8	19%	5%	31%	0%	△
	マキヤライトピンク	2/4～2/28	65.0	69.0	2.0	6.0	9.0	21.0	46%	37%	17%	0%	△
	恋桜ピュア	1/10～2/11	67.6	47.8	2.2	6.4	6.6	18.8	70%	28%	2%	0%	△
	クリスハート	1/10～1/26	80.4	70.0	3.2	6.6	8.3	20.4	90%	9%	1%	73%	○
R2	グラナスライラック	2/15～2/25	72.9	87.4	2.4	5.7	9.8	18.2	89%	11%	0%	83%	○
	レガロ	2/13～2/20	79.6	57.6	2.0	3.5	8.4	17.0	0%	55%	35%	100%	△
	ジュリアスブルー	2/13～2/20	84.9	86.0	2.1	4.8	9.1	15.0	65%	30%	5%	95%	○
	ルカゴールド	2/13～2/20	70.5	54.3	2.0	4.2	7.5	18.3	21%	74%	5%	58%	△
	ボヤーージュマスカット	2/15～2/25	66.1	67.7	2.0	4.3	10.3	21.0	30%	55%	15%	30%	△



ボヤーージュみどり



クリスハート



グラナスライラック



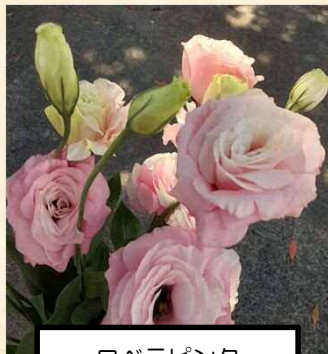
ジュリアスブルー

Ⅳ 導入に向けた取組内容

(4) 2度切り栽培適応性の実証及び経営検討

- 内 容：2度切り栽培に適性があると研究会で想定されたロベラピンク、ボレロフレアホワイトを用いた2度切り栽培(12～1月＋4～5月)栽培の実証
- 結 果：中早生のボレロフレアホワイト、中生のロベラピンクで試験し、9月中旬に定植を行えば、2品種ともに2度切り栽培が行えた。また、2度切り栽培をすることで10アール当たりの出荷本数が向上することも確認できた。
- 経営検討：実証農家において、経営検討を行い、2度切り栽培に取り組んだ結果、過去の実績と比較して単収と収益が向上したかを確認した。

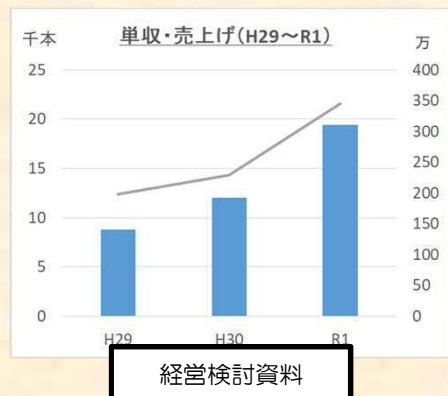
品種名	定植日	収穫期 1度目	出荷割合 (%)			10a当たりの 出荷本数	収穫期 2度目	出荷割合 (%)			10a当たりの 出荷本数
			5輪	4輪	3輪			5輪	4輪	3輪	
ボレロフレア ホワイト	9/11～12	11/29～12/13	18	57	24	17,683	5/3～5/26	90	10	-	48,553
ロベラピンク		12/6～1/14	38	15	47	13,901	5/3～6/2	77	23	-	42,216



ロベラピンク



ボレロフレアホワイト



(5) 農家へ情報共有(研修会及び現地検討会)

- ・研修会と併せて、実証ほ場での現地検討会を開催。
- ・実証の結果、計9品種の現地適応性が確認され、うち2品種は2度切り栽培が可能であり、適品種に選定された。



実証ほの現地検討会

Ⅳ 導入に向けた取組内容

2 先進地調査について

(1) 栽培技術・品種等の情報収集(長野)

①(株)フラワースピリット

- ・トルコギキョウ（5月～1月出荷）を中心に、総出荷本数 約430万本の大産地
- ・コサージュ仕立て（蕾は除去、1枝1花）栽培を開発し、ボリューム、花もちが実需者に評価され、高単価での販売を実現
- ・土づくり、かん水方法等の栽培管理技術の調査



(株)フラワースピリット

②トルコギキョウ土壌病害対策セミナー

- ・2度切り収穫時期の4～5月に立枯病の被害が増加しており、産地では課題となっている
- ・フザリウムを中心としたトルコギキョウの土壌病害、土壌病害総合防除の考え方、各産地の土壌還元消毒方法等を情報収集



土壌病害対策セミナー

③長野県野菜花き試験場

- ・種苗会社など10社が約180品種を展示
- ・沖永良部地域で主に栽培される早生、中生の品種を中心に調査



長野県野菜花き試験場

(2) 栽培技術・品種等の産地事例調査(福岡)

①JA直鞍 若宮花俱樂部

- ・トルコギキョウ（9月～5月出荷）を中心に、総出荷本数 約85万本の大産地
- ・販売先との情報交換・ニーズ調査と、生産に適した品種の選定を目的に、年一回品種展示会を開催。ニーズに合わせた高品質な切り花生産に取り組む
- ・一部、2度切り栽培も行う
- ・育苗、栽培管理技術等の情報収集



②福岡県農林業試験場

- ・福岡県内のトルコギキョウ栽培の生産状況及び栽培管理技術について情報収集



JA直鞍 若宮花俱樂部

Ⅳ 導入に向けた取組内容

3 実需者ニーズ調査及び市場調査について

(1) 実需者のニーズ調査(関東)

(株)オークネット・アグリビジネス

- 管内の全出荷団体（花き専門農協、JA知名・与論、フラワーアイランド）が出荷。
- 11月から1月までの出荷量について、九州各県の比較では、熊本県と鹿児島県（沖永良部・与論のみ）が最も多い。
- 沖永良部地域のトルコギキョウの評価は、着荷状況や花持ちに問題はなく、好評であった。
- 沖永良部地域から出荷される小中輪系のボレロホワイト、渚B、ボレロフレアホワイト、コロンホワイト、海ほのか、ロジーナラベンダー等は葬儀向けの手堅い需要がある。
- 大輪系のルセナブルーフラッシュ、ボヤージュグリーン、ボンボヤージュスイートピンクなども出荷割合は少ないが、高単価で取引されている。

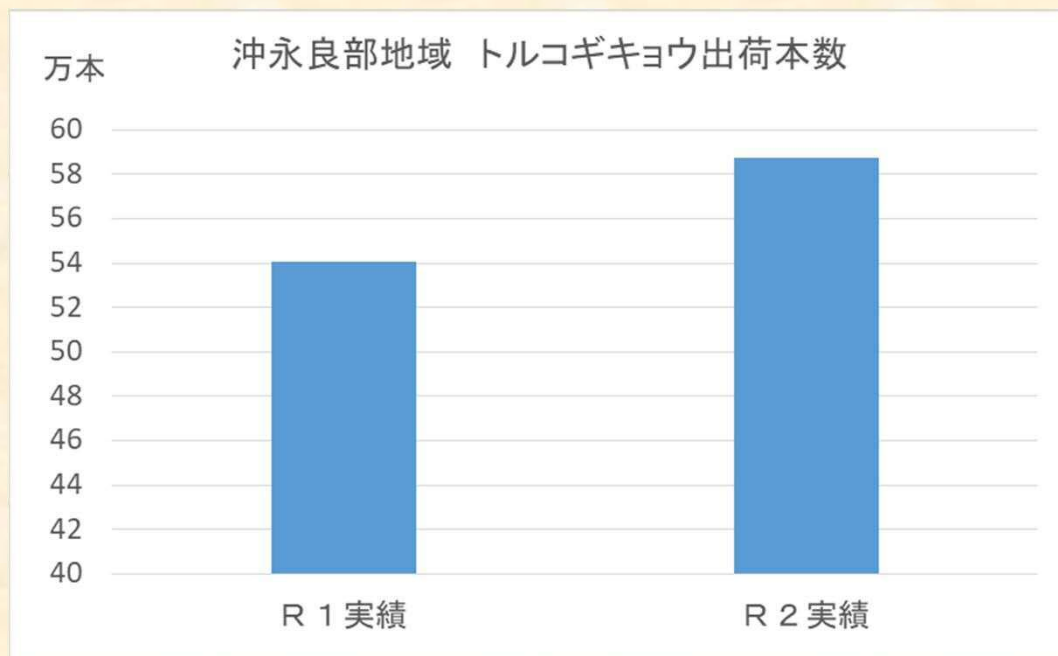
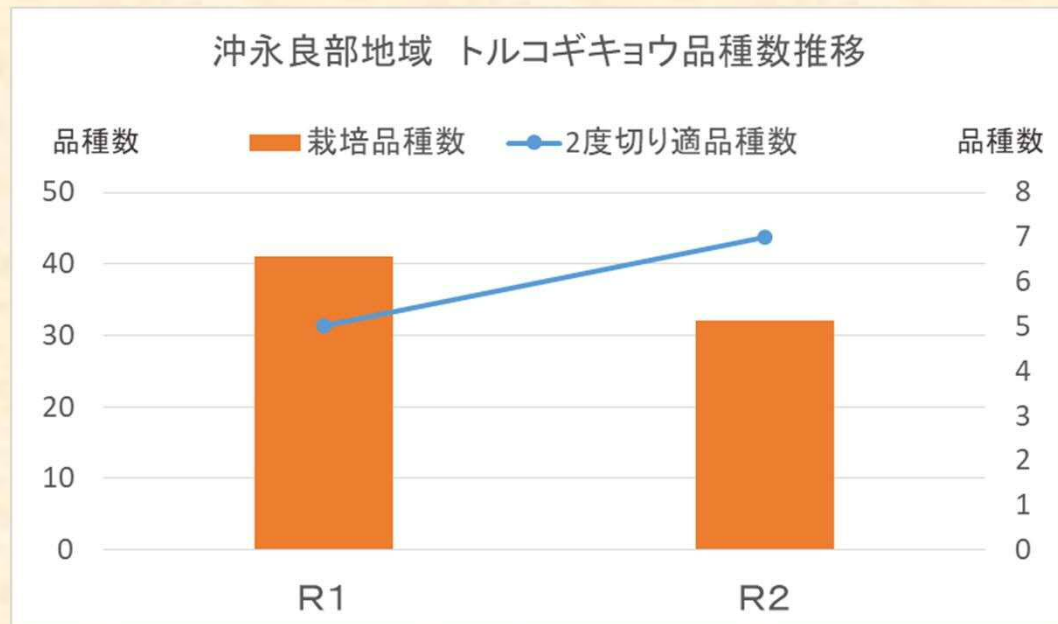


(2) 品種選定検討会

- 関東の花き市場トルコギキョウ担当者と花き専門技術指導員を招き、品種選定検討会を開催。
- 沖永良部地域のトルコギキョウの品質、品種への評価や、市場取扱品種などを情報交換。
- 市場や花屋が、沖永良部地域に求める品種と、地域で生産しやすい品種はおおむね合致していた。今後、さらに実需者のニーズに応じていくためにも、継続した適品種の選定に取り組む必要がある。



Ⅴ 新品種・新技術の導入状況



※3出荷団体（沖永良部花き専門農協，JA知名，JA与論）合計

Ⅵ その他留意事項

○適品種について

- ・今回供試した品種の調査結果は，沖永良部地域で無加温栽培した場合である。

○2度切り栽培について

- ・2度切り栽培を行うためには，9月中旬から定植を行う必要があり，台風発生時期と重なるため，定植日の調整や防風対策等が必要である。